

# 《分科会 1》

復興の過程とともに、  
NPOの活動と役割は  
どのように変化していくのか？

NPO法人みやっこベース

理事長 早川 輝



# 早川 輝

## 1987年生まれ 福岡県北九州市出身

NPO法人みやっこベース 理事長

株式会社日々旅 取締役専務



### 各種委員

- ・宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員会
- ・宮古市地域づくり協議会
- ・宮古市共同募金委員会 副委員長（～2019）
- ・宮古市教育振興基本対策審議会委員（～2019）



福岡県北九州市出身  
大学は電子情報工学科卒



大学卒業後、2年間  
オーストラリアで  
ワーキングホリデー



帰国10日後に東日本大震災  
2011年6月ボランティアで  
宮古市へ



2013年前身となる  
「ユースみやっこベース」  
を設立

## ミッション

未来のはじまりを、共に創る

## ビジョン

多様な未来が生まれ、彩る地域

## 事業

- ①自ら未来を創る子ども・若者の育成支援
- ②子ども・若者の未来を支える基盤づくり
- ③持続可能な組織基盤整備

高校生サミット



地域活動支援



みやっこタウン



地元修学旅行



実践型インターンシップ



世代を連続した関わりにより  
教育＝子どもへの体験機会提供、成長支援と  
まちづくり＝地域、産業を担う人材育成を両立

ルーキーズカレッジ



社会人

大学生

高校生

中学生

小学生

子ども・若者が活躍する  
環境（土台）にも  
様々な課題が山積…

子どもの成長支援と共に  
多様な関係機関との協働で  
環境を整備していく

# 活動の変遷

● 団体  
設立

● 法人化

● 台風10号

● 台風  
19号

● コロナウイルス

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

高校生サミット

高校生の地域活動支援

高校の探究学習サポート

みやっこハウス

地元修学旅行

みやっこタウン

ルーキーズカレッジ

実践型インターンシップ

経営者・人事担当者向けセミナー

# 活動の変遷

● 団体  
設立

● 法人化

● 台風10号

● 台風  
19号

● コロナウイルス

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

高校生サミット

高校生の地域活動支援

高校の探究学習サポート

みやっこハウス

地元修学旅行

みやっこタウン

ルーキーズカレッジ

実践型インターンシップ

経営者・人事担当者向けセミナー

1

2

3

# 活動の変遷

2011～2013年

2013～2016年

2016～2020年

2020年～

①  
着想・設立準備

①  
高校生躍動期

②  
課題発見・試行期

③  
整理・再スタート

## キーワード

ボランティア  
復興  
子どもの参画

担い手育成  
社会教育  
地域活性化

人材育成  
Uターン  
社会システム

人生の豊かさ  
子どもの幸福

## 支援対象者の課題

復興に関わる  
きっかけが  
ほしい

地域で  
仲間と楽しく  
活動したい

若者が育ち活躍  
する上でのシス  
テムの課題

...

## 関わる人

ボランティア  
社会福祉協議会  
若手経営者

高校生の活動を  
応援する市民

企業・経営者  
行政機関  
学校

...

# 0. 設立まで (2011~2013年)



# 1. 高校生躍動期 (2013～2016年)



2013年4月  
高校生プレゼン大会

高校生の力で  
できることは？



# 高校生サミット

## 高校生の話し合いの場

- ・ 交流の場  
→ 横のつながり
- ・ きっかけ作り  
→ 活動への意欲



## これまでのテーマ

「復興とは」

「宮古の活性化」

「働くことについて」

「各学校の特色と違い」 など



# これまでの高校生のプロジェクト

## 商店街MAP作成

ご当地土産コラボ商品開発

観光ツアー

ハンドメイド雑貨

世代間交流

フェス

高校生カフェ

防災フィールドワーク

お祭りでの出店

・

・



# これまでの高校生のプロジェクト

商店街MAP作成  
ご当地土産コラボ商品開発

観光ツアー

ハンドメイド雑貨

**世代間交流**

フェス

高校生カフェ

防災フィールドワーク

お祭りでの出店

・

・



# これまでの高校生のプロジェクト

商店街MAP作成  
ご当地土産コラボ商品開発

観光ツアー

ハンドメイド雑貨

世代間交流

フェス

高校生カフェ

防災フィールドワーク

お祭りでの出店

・  
・



## 2. 課題発見・試行期（2016～2020年）

宮古の魅力と出会う旅。  
**地元修学旅行**



みやこ  
大学



# 宮古の魅力と出会う旅。 地元修学旅行



# 地元修学旅行とは・・・？

## 地元修学旅行

高校生大学生を対象に、自然や産業を修学旅行形式で体験するプログラム。宮古を誇りに思い、宮古での暮らしを前向きに捉える若者を増やし、宮古での定住を志す人材の増加を図ることを目的としています。

- (1)宮古市での自然体験を行い、地元の暮らしにおける魅力を認識する。
- (2)宮古市の産業や社会人と触れ合い、地元における職業観を身に付ける。
- (3)参加者同士の友情を深め、地元での良い思い出を作る。

名称：地元修学旅行2017秋

日時：平成29年9月22日（金）～23日（土）

場所：宮古市新里地区、川井地区

主催：NPO法人みやっこベース

共催：岩手県沿岸広域振興局、KDDI株式会社、株式会社岩手県北観光

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

※日産プレジデント基金助成、沿岸広域振興局の地域経営推進費活用事業



## 2. 課題発見・試行期（2016～2020年）

宮古の魅力と出会う旅。  
地元修学旅行





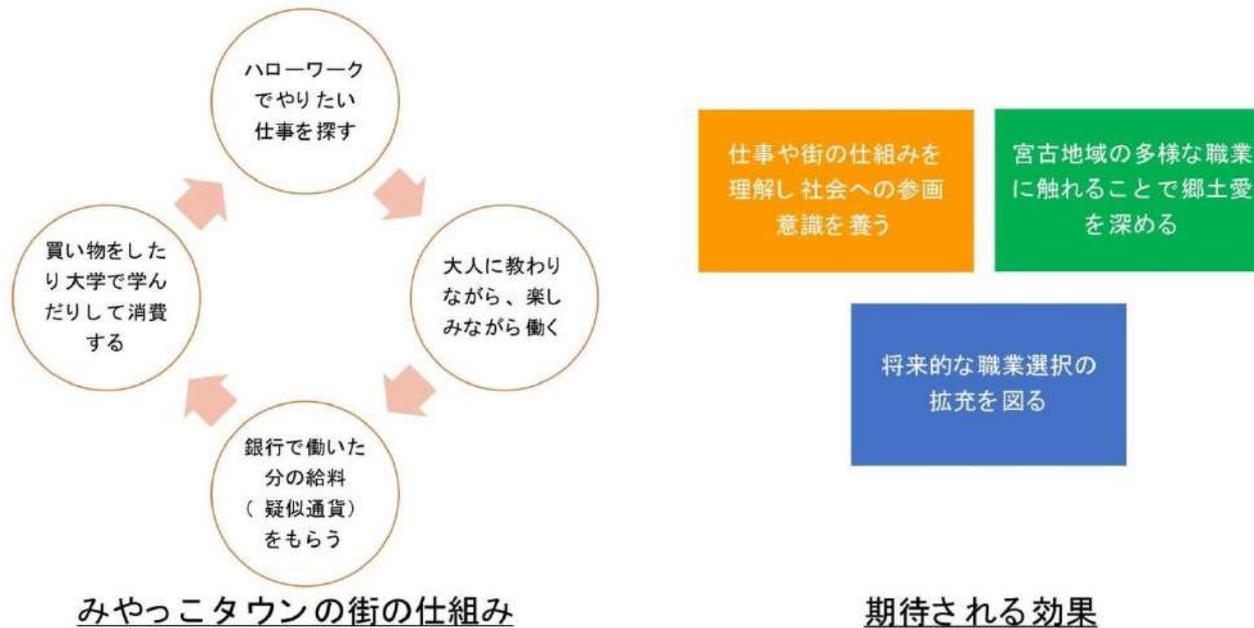
みやこタウン2017



# みやっこタウンとは・・・？



子どもだけが参加できる疑似的な街。  
街の中で子どもたちは仕事を探し、働き、給料をもらい、  
食べたり遊んだり買い物をしたりすることができます。



名称：みやっこタウン2017  
日時：平成29年8月20日（日）  
場所：宮古市民総合体育館シーアリーナ  
主催：みやっこタウン実行委員会  
（一般社団法人陸中宮古青年会議所、NPO法人みやっこベース）  
※平成29年度宮古市教育振興基金活用事業、日産プレジデント基金助成





## 2. 課題発見・試行期（2016～2020年）

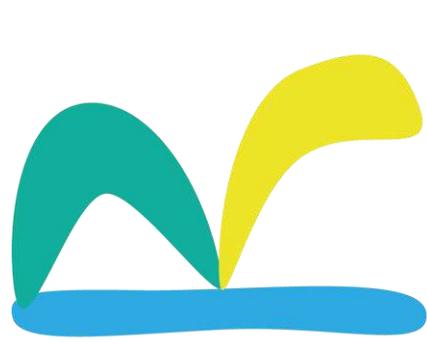
未来のための学びを、仲間とまちと。



実践型  
インターンシップ



未来のための学びを、仲間とまちと。



# ルーキーズ

# カレッジ

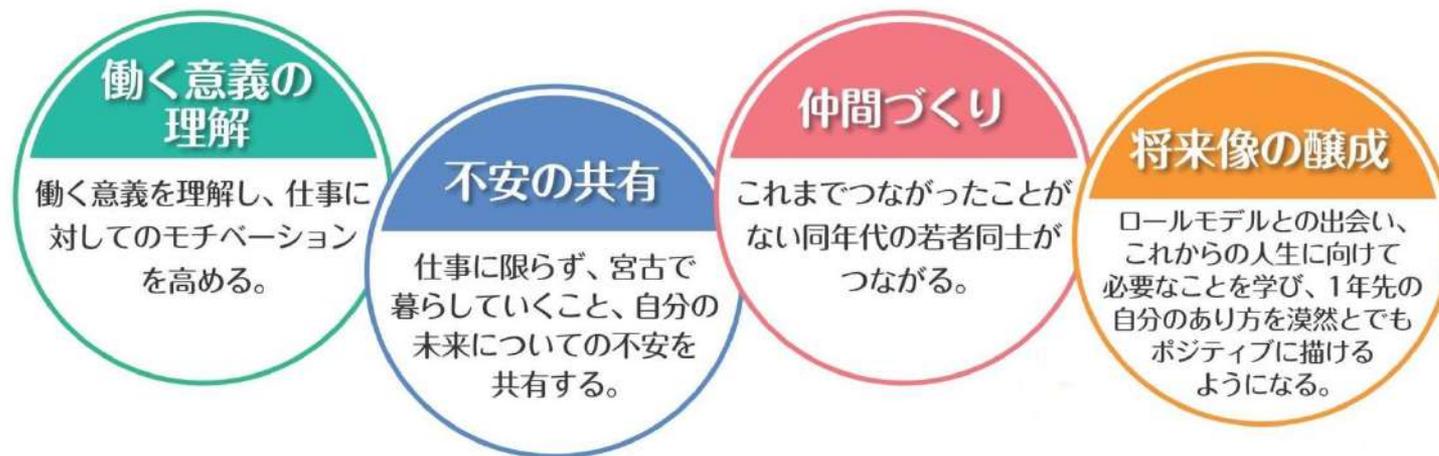
[ROOKIES COLLEGE]



# ルーキーズカレッジとは・・・？



地域内合同の新入社員研修により、企業や団体の枠を越えた縦横のつながりを作り、同期コミュニティ形成を促します。早期離職率の低下や、将来的に宮古地域に定着する人材の増加を目的としています。



名称：ルーキーズカレッジ  
日時：平成29年5月20日（土）  
場所：浄土ヶ浜レストハウス  
主催：NPO法人みやっこベース  
共催：宮古商工会議所  
後援：岩手県沿岸振興局、宮古市、宮古信用金庫



## 2. 課題発見・試行期（2016～2020年）

未来のための学びを、仲間とまちと。



実践型  
インターンシップ



# インターネットを受け入れる若い経営者たち



平均年齢 37 歳

震災後に世代交代、起業した地域への熱い思い

# 2018年実践型インターンシップ受け入れ開始





2018年夏期 3社7名



2019年春期 4社8名

2019年夏期 5社7名



2020年春期 5社11名





2020年夏期 6社17名

### 3. 現状の整理と今後の展望（2021年～）

高校生サミット



地域活動支援



みやっこタウン



地元修学旅行



実践型インターンシップ



世代を連続した関わりにより  
教育＝子どもへの体験機会提供、成長支援と  
まちづくり＝地域、産業を担う人材育成を両立

ルーキーズカレッジ



社会人

大学生

高校生

中学生

小学生

子ども・若者が活躍する  
環境（土台）にも  
様々な課題が山積…

子どもの成長支援と共に  
多様な関係機関との協働で  
環境を整備していく

# 未来のはじまりを、共に創る

豊かな暮らしのために、望む未来を自ら創っていく。

そのためには、希望と意志を持つことが必要です。

希望と意志を持つには、いろいろな人と出会い、  
いろいろなことを体験し、感じ、学び、自分のありたい姿を見つけ、  
可能性を広げていくことから始まります。

私たちは、つながりを生かし、地域内外の力を結集して、  
「未来のはじまり＝ベース（土台、環境、機会）」を創っていきます。

すべての子ども・若者が希望を持ち、未来の創り手となるように。  
そして、また次の未来へつながるように。

# 多様な未来が生まれ、彩る地域

## ①多様な個性が共存していること

子ども・若者が自分の価値観を持ち、自分らしさを大切にして自立している  
自分らしさを受け入れられる雰囲気やコミュニティが地域に多数ある  
自分を認めると共に他者を認め、お互いに尊重し、共存できる

## ②自ら未来を切り拓くことが当たり前であること

子ども・若者が自分の価値観に沿った理想や未来への希望を持つ機会が開かれている  
自分で望む未来に近づくような行動を起こし、続けることができる  
行動や挑戦を後押しする機会や土壌があり、応援しあえる

## ③実現する未来の一つ一つが地域の豊かさになっていること

一人一人の行動が新たな価値を生み出し、自分や他の誰かの暮らしを豊かにする  
生み出される価値が多種多様であり、それらが地域全体の豊かさにつながる  
地域全体の豊かさが次の未来のきっかけになり、豊かな暮らしが循環、継続していく